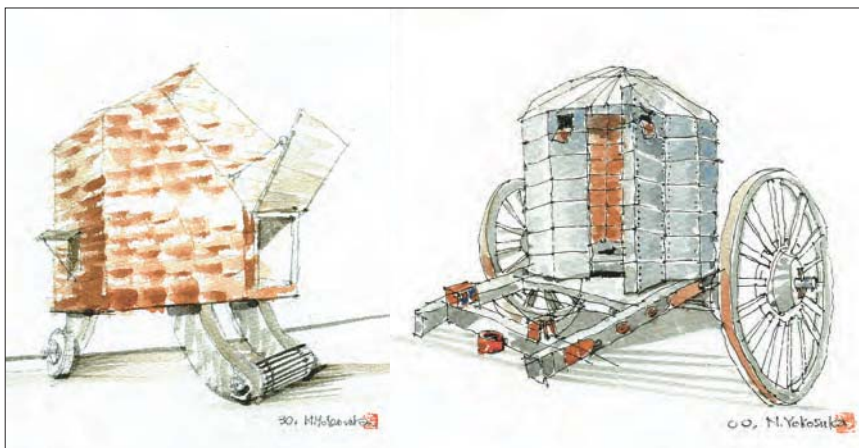


(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

奉仕プロジェクト研究会報告

社会奉仕委員長 土子 仁志

国際ロータリー第2820地区奉仕プロジェクト研究会が7月28日に三の丸ホテルにて行なわれました。対象となる委員会は各クラブの職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の委員長です。行われた内容としては、国際ロータリー第2820地区の各クラブ社会奉仕委員会での2018-19年度のクラブ奉仕活動事業計画について話し合いました。6グループに分かれてワークショップ形式で継続事業を続けていく必要性、新規事業を行う予定についてをテーマに話し合いました。私のグループでは8クラブのメンバーが揃っておりました。そこで社会奉仕委員会の事業をテーマにまずは、今年度の事業は、継続事業と新規事業を考えているクラブを把握しました。結果は継続事業が5クラブ、新規事業が3クラブとなりました。

新規事業を行うにあたり困難な理由として予算が足りないと思うような事業が出来ない。また、メンバーの不足があげられており

ました。このようなことから新たに事業を始めるには委員会だけではなくクラブ全体の協力がないと難しいと感じました。また、新規事業を行うクラブの理由としましては、行政の手が届かない所をフォローしていくなどがあげられておりました。地域に目を配り情報を得る事の大事さも改めて感じました。継続事業として、やはり環境問題に関わる事業をしているクラブが多いことが分かりました。我が水戸ロータリークラブでも千波湖水質浄化推進協会を提唱し発足させ、千波湖の水質の改善のために毎年活動しております。他のクラブでも古民家再生事業や里山の保全だったり、自分たちの町の環境を良くするための素晴らしい事業を継続されておりました。誰かがやらなければ廃れてしまうものがあります。そのために始めた事業ならば継続していきたいし、継続していかなければならないと思いました。継続事業が如何に必要なかを確認出来た時間になりました。

No. 8 2018・8・28

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 牧 厚志 ■幹事 二川 泰久

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



「学校基本調査」（文部科学省）によると、平成28年度の日本の高校進学率は98.9%だった。しかし、進学した全ての生徒が学校生活に適應できるわけではない。同省の「児童生徒の問題行動等に関する調査」によると、同年度に4万8千人が高校（全日制＋定時制）を退学しており中退率は1.4%。また、不登校は4万9千人で不登校率は1.47%である。

茨城県の場合、同年度の高校中退者は1721人で中退率1.82%。不登校は446人で0.56%である。また、平成29年度の県内中学から通信制高校への進学者は681人で、高校進学者に占める割合は2.64%であった。平成19年度の通信制への進学者は428人であったため、10年間で1.47倍に増加している。

茨城県の場合、同年度の高校中退者は1721人で中退率1.82%。不登校は446人で0.56%である。また、平成29年度の県内中学から通信制高校への進学者は681人で、高校進学者に占める割合は2.64%であった。平成19年度の通信制への進学者は428人であったため、10年間で1.47倍に増加している。

そして全国では、平成7年度の通信制の生徒数は15万4千人であったが、平成28年度には18万1千人に増加している。一方、同年度に高校生総数は466万6千人から330万人に減少している。

だからこそ現在、様々な理由によって実質義務教育化している高校教育から振り落とされた生徒に対して「生きる道」を提示することが求められているのである。これらの生徒達にとって今や、通信制高校は最も重要な選択肢となっていることは明らかだ。

彼らが通信制高校に通う最大の理由は「高校卒業資格だけは取得したい」というものであるが、大部分の生徒の本心はそれだけではない。本当は「高校生らしい生活」を送りたいのである。

それ故、狭域型通信制（生徒募集エリアは認可県と隣接1県のみ）の水戸平成学園高校（茨城県認可。校舎は水戸本校のみ。7月末在籍生徒267名は全員県内在住）は、すべての生徒が高校生活の楽しさを経験し、「生きる力」を身に付けて卒業させるという信念で運営している。

そのため、生徒の誰もがチャレンジしやすい学

校環境の整備が必須であるだけに、平日・土曜・集中のスクーリング・コースを設けて、自由に選択できるようにしている。

だが、教室という閉鎖空間での授業には緊張を覚えるが、室外での活動なら参加可能という生徒もいるため、特別活動や体験学習の拡充にも取り組んでいる。

そして集団になじめない生徒の場合、個別学習や視聴覚教材による学びであれば適應できるため、通常授業とは別に午後の補習時間に、教師が習熟度に応じた個別指導にあたっている。

また生徒は、学習ソフト「すらら」（小学4年程度から段階的に高校3年までの自学自習教材）を活用し、自分のレベルに応じて学んでもいる。このように本校は、生徒の状況を斟酌し「学習方法の多様性」の確保に努めている。

加えて「達成目標の多様性」に関しても配慮している。生徒によっては、進学校での多量の課題や学習スピードについていけないが、ゆっくり学べば高い学力水準に到達できる者もいる。そのような生徒には、大学進学に対応できる本校独自の「学習プログラム」を提供して、年間を通して対象者向けの特別授業も行っている。

なお、学習にあまり関心を示さない生徒達には、「生きる力」を体得するための支援が必要になる。周囲との距離感、常識や規範、お金の稼ぎ方や使い方、最低限必要な学力など、教えることは山積みである。

他方、積極的に登校しない生徒が存在することも事実である。それでは教育を受ける機会すら得られないため、教師はメールや電話、手紙や家庭訪問などによって根気よく登校を促している。

そして本校は、職員室をオープンにして、いつでも気軽に生徒と教師が向き合っている。また、通信制では本校が最初に導入した「7つの習慣J」を活用した総合の授業は、生徒の目標設定と人格形成の上で大きな役割を果たしている。

さらに、就職指導も不可欠な取り組み課題である。通常進学校ではパティシエや植木職人になるすべは教えないだろう。でも社会は高学歴のエリートだけで成り立っているのではない。

それだけに多様な職業への道を肯定的に示して生徒のチャレンジを後押するのも本校の務めである。

このように多様な生徒を受け入れている通信制高校の運営には苦勞も多いが、変容し成長していく生徒の姿に勇気付けられることも多い。

例 会 報 告

8 月第 4 例会

司会 神尾(友)委員

◇ ゲスト紹介

水城高等学校 I A C 藤井真智子 教諭
" 櫻井 愛美 さん
" 高野橋果恋 さん
" 岡野 夏帆 さん

◇ インターアクト台湾研修旅行報告

水城高等学校 I A C



豊かな台湾文化や歴史、日本と台湾の関りについて学ぶことができた 4 日間でした。

孔子廟

孔子廟は孔子を祀る建物です。昔は学校として使われていたそうです。庭にはすももなどの木が植えてあり、それは孔子の弟子を表しているそうです。

孔子の言葉で「学問に近道はない。修行をなさい。」という意味だそうです。この言葉を聞いて「自分も勉強を頑張ろう!」と思いました。

龍山寺

龍山寺は台北で最も歴史のあるお寺で、信者の方たちが熱心にお経を唱えていました。お寺の中は信者の方たちの声で溢れており、今まで感じたことのないような雰囲気でした。

またお参りの仕方やおみくじの引き方も日本とは異なっていて、信心深い台湾の一面を知ることができました。

故宮博物院

故宮博物院についてです。研修に行く前は、世界四大博物館といわれている故宮博物院では、

白菜が人気だと聞いて「なぜ、そのようなものが人気なのだろう?」と疑問に思っていました。しかし実際に訪問し、ガイドさんの話を聞いてみると「白菜は、昔は百才と呼んでおり、中国語で百才の意味は 百は多いものの例え、才は富の意味を表す」とおっしゃっていました。白菜にもこんなに深い意味があって驚きました。また、亡くなった人に豚の彫刻を持たせる話もとても驚きました。昔は豚を多く飼っている家ほどお金持ちと言われ、亡くなった人に豚の彫刻を持たせると天国でも多くの財産に恵まれ裕福な生活を送れるという理由から、そのようなことが行われるようになったそうです。他にもたくさんの作品があり、博物館内の全ての作品を見ようとすると、とても長い月日がかかるそうです。展示品の入れ替えなどもあるようなので、また台湾へ行く機会があったら故宮博物院へ行きたいです。

十分

十分では一人一人願いごとを書いて、台湾の空へ飛ばしました。空はたくさんのランタンで埋め尽くされており、とてもきれいでした。

九份

九份はジブリでお馴染みの「千と千尋の神隠し」のモデルとなった街として知っていたので、とても楽しみにしていました。実際に行ってみると、まるで千と千尋の神隠しの物語の中を冒険しているようでした。また、多くの人で賑っており日本のお祭りのような雰囲気が感じられました。

黄金博物館

黄金博物館では金の採掘がおこなわれていた時代の宿舍や昭和天皇が台湾を訪問した際の太子賓館を見学しました。昔は機械がなかったため全て工事は手作業だったことは知っていましたが、実際に工事の様子を見てみると大人数で行っていたこと・長い年月がかかっていた

たことに驚きました。一方で「現代の機械は本当に便利だな」と改めて自分たちの時代のありがたさを感じられました。

中正記念堂

中正記念堂の「中正」は皆さんもご存知の、蒋介石のことを示します。

記念堂の入口へ向かって、89段のとても長い階段があります。89段というのは、蒋介石の亡くなった年齢が数え歳で89歳だったことから89段にしてあるそうです。

中正記念堂ではまず、衛兵の交代式を見学しました。静寂の中、兵隊さんの足音と銃を床にたたきつける音だけが響いていました。一糸乱れぬ動きに圧倒されました。

また、蒋介石が使用していた事務室も見学しました。事務室に時計がかけてあり、蒋介石が亡くなられた12時50分を指していました。

蒋介石のおかげで、北朝鮮と韓国のように日本が分裂せずに済んだという話をロータリアンの方からお聞きし、私たちは蒋介石に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。

蒋介石にかかわる出来事が沢山詰め込まれており、日本とのつながりを学ぶことができる素晴らしい場所でした。

他校のインターアクトとの交流

2日目の反省会では、地区インターアクト委員長の木村さんから「見学して学んだこと、ガイドさんから話を聞いて学んだことは、ただ学んだだけで終わりにしないこと。今回学んだことをこれからどのようにして生かしていくかを考えることが大切です。」と、アドバイスをいただきました。

次の日には、皆がどんなことに生かしていくのか考えながら見学をしたり、話を聞いたりすることができたため、3日目の反省会では一人一人が課題をしっかりと見つけることができました。

台湾のインターアクトとの交流会

台湾のインターアクトの高校生との交流は2日間というとても短い時間でした。

しかし、この交流会が私たちを大きく成長させてくれたと言っても過言ではありません。台湾の高校生は、元気というレベルを超えてパワフルでした。カメラを向ければ、みんなが集まってきたり、カラオケになればみんなでまと

まって歌ったりしていました。

1日目は一緒に観光をしたり食事をしたりしましたが、自ら話しかけることが全く出来ませんでした。お互いに母国語が英語ではない為、うまく話すことも聞き取ることも出来ず、自信を無くしてしまいました。しかし、改めて台湾研修の目的を考え直し「2日目は自分から話しかけよう!」と心に決めました。

2日目は台湾の高校の士林高商への訪問があり、各学校の説明や様子を聞きました。その後、学校ごとに準備してきたレクレーションを行いました。私たち水城高校はおはじきを行い、参加者に折り紙をプレゼントしました。ルール説明は英語やジェスチャーを使って行いました。とても仲良くなることができ、連絡先を交換したり一緒に写真を撮ったりすることもできました。2日目の夕食時の交流では「また台湾に来てね」「茨城に行ってみたい!」「私たちのこと忘れないでね」「いつでも連絡してね」など、最後にはとても長く過ごしたかのように仲良くなることが出来ました。

私たち水城高校インターアクトクラブはこの台湾研修で、コミュニケーションの大切さ、自ら進んで行うという積極性、そして誰にも負けないような元気のよさ、この3つを大きく学ぶことが出来ました。

台湾のインターアクトの高校生たちのように、水城高校インターアクトクラブをもっと元気に、そして積極性のある部活にしていきたいと思います。

これからも水城高校インターアクトクラブをよろしくお願いします。

◇ 会長の時間

牧会長

水城高校IACの皆さんご報告ありがとうございました。貴重な体験が得られてよかったですね。

先週の納涼家族会は天候に恵まれ、潮風に吹かれながら素晴らしいジャズ演奏を楽しんだ後は、我がクラブのコーラス愛好会の初ステージと続き、大変盛り上がった納涼会になりました。私は演奏前は一滴も飲まなかったのですが、終わった後は緊張から解放されちょっと飲み過ぎてしまいました。

山口楼さん、会場・親睦活動委員会の皆さんお世話になりました。またご参加の会員・ご家族の皆様ありがとうございました。そしてコーラス愛好会の皆さんお疲れ様でした。また練習しましょう。

さて、26日に地区会長幹事会がありました。高橋ガバナーは地区の戦略計画の中で会員増強が特に重要な課題で、期末には地区の会員数を2000名に押し上げたいと言っておりました。

また、さる19日にはインターアクト年次大会が、水戸女子高等学校インターアクトクラブのホストで開催され、参加してまいりました。「ボランティアってなんだろう？」というテーマで高校生達が真剣にワークショップをしていました。若いうちから奉仕や社会貢献について考え、そして行動する機会が得られるインターアクトクラブは本当に素晴らしいと思います。

◇ 出席報告

益子副委員長

会 員 数	出 席 数	欠席数	本日の出席率
112名	76名	36名	71.70%

前 週訂正出席率 71.57%

前々週訂正出席率 79.80%

◇ 会員メイクアップ

8/13 日本REC2650 関口 泰久

8/25 ワールド大阪REC 内藤 学

8/26 地区会長幹事会 井上 壽博、牧 厚志、
二川 泰久

8/26 ロータリーリーダーシップ研修会 (RLI)
長野 久嗣

8/28 日本REC2650 関口 泰久

◇ にこにこBOX

谷川委員長

齊藤(佳)会員……本日インターアクトの生徒たちの研修報告があります。楽しみにしております。

高貫会員……本日水城高校のインターアクトの皆さんがいらっしゃいます。どうぞ宜しくお願い致します。

牧会員……納涼家族会、天候に恵まれ大変盛り上がりました。ありがとうございます。

高沢会員……納涼家族会の写真ありがとうございます！楽しい会を設定していただき感謝します。

石島会員・安(徹)会員……先日の納涼家族会の写真を頂きました。

豊崎(繁)会員……盛大な納涼家族会に感謝。

山口(晃)会員……納涼家族会にたくさんの方に御参加頂き、誠にありがとうございました。

小泉会員……写真ありがとうございます。又、コーラスができました。

岡崎会員・高尾会員……納涼家族会の写真ありがとうございます。

後藤会員……納涼家族会楽しかったです。写真ありがとうございました。

山口(政)会員……先日の納涼家族会ご参加ありがとうございます。拙い司会で申し訳ございませんでした。

鯉沼会員……納涼家族会楽しかったと妻から言われました。ありがとうございます。

杉江会員……納涼家族会楽しかったです。

宮沢会員……先日は楽しい納涼家族会ありがとうございました。お陰様で大洗G Cのハンディ11→10になりました。

松本会員……仕事で良い事がありましたので!!

中原会員……納涼家族会お疲れ様でした。まだまだ暑い日が続きますが、頑張って乗り切りましょう。

小田部会員……誕生祝ありがとうございました。

中村(三)会員……誕生祝ありがとうございます。

高原(裕)会員……妻の誕生祝ありがとうございます。

田母神会員……家内の誕生日プレゼントを頂きました。ありがとうございました！あと残り1ヶ月ですが、よろしくお願いします！

本日の合計	22件	125,000円
8月の合計	45件	243,000円
累 計	111件	633,000円

◇ 財団BOX

井上 壽博会員……財団の友献金

(第3・4回) \$ 200 22,400円
(累計 \$ 4,481)

この計	1 件	22,400円
-----	-----	---------

◇ 米山BOX

井上 壽博会員……米山功労者献金
(第4回) 10,000円
(累計 740,000円)

太田 正明会員……米山功労者献金
(第6回) 10,000円
(累計 560,000円)

長野 久嗣会員……米山功労者献金
(第4回) 10,000円
(累計 240,000円)

この計	3件	30,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

二川幹事

1. 9月定例理事会が開催されます。理事・役員の方々のご出席をお願い致します。

と き 9月4日(火) 11:30

- 議 題
- 1) 新会員候補者審議
 - 2) ガバナー公式訪問について
 - 3) 第39回ライラセミナーについて
 - 4) 前橋RC創立65周年記念式典について
 - 5) 9月・10月の例会プログラムについて
 - 6) 会計報告
 - 7) その他

2. 2018～2019年度会員名簿を作成しております。記載事項に従って変更・訂正の有無にかかわらず9月11日(火)までに、ご提出をお願い申し上げます。

— 記録委員会・職業奉仕委員会 —

3. 第52回“ふれあいデー — ガールスカウト茨城第2団 —”が実施されます。

と き 9月2日(日)

集合 9:00 (開運寺)

開会 9:30

ところ 早川ぶどう園 (千波町)

出席者 水城高校 IAC、水戸RAC、
水戸RC

※詳細については、高貫青少年奉仕委員長までお尋ねください。

4. 第1回サポート委員会主催の研修会が開催されます。自己研鑽と親睦を図るための研修会となっております。多くの会員のご出席をお願い致します。

と き 9月25日(火)

研修会 18:00～19:00

於 水戸証券㈱ 会議室

「リーダーシップとは」

2009～2010年度会長

大久保博之 会員

懇親会 19:15～20:30

於 居酒屋「すずはる」

会 費 5,000円 (懇親会参加者のみ)

締 切 9月18日(火)



趣味の会ESSYが開催されました



週報担当 片岡 宗厳 委員長

例 会 予 告

9月11日(火)

— イニシエーションスピーチ —
卓話「転勤族のすすめ」

浪川 洋一 会員

9月18日(火)

— イニシエーションスピーチ —
卓話「私の生い立ち」

神尾 友勝 会員

9月25日(火)

— イニシエーションスピーチ —
卓話「いきいき茨城ゆめ国体・

ゆめ大会について」

茨城県国体・障害者スポーツ大会局
総務企画課長 西野 浩二 氏